

## 国立大学法人東北大学総長の業務執行状況の確認について

平成27年10月20日

国立大学法人東北大学総長選考会議

国立大学法人東北大学総長選考会議では、里見進総長の任期が3年を終了したことから、総長の業務執行状況の確認に関する基準(平成27年3月20日総長選考会議決定)に基づき、平成27年9月3日に里見進総長に対してヒアリングを実施し、業務執行状況の確認を行った。

里見進総長に対する業務執行状況の確認結果は、下記のとおりである。

### 記

里見総長は、就任以来「ワールドクラスへの飛躍」と「復興・新生の先導」という2つの目標を掲げて、これらの実現に向けて優れたリーダーシップを発揮していると認められる。

総長選考会議としては、里見総長には上記の目標を実現するべく、引き続き東北大学総長として諸課題に取り組んでいただくことを期待する。

以上

(別紙)

【総長選考会議における主な所見】

- ・就任当初より、学内各所に目を配りながら構成員と一丸となって諸課題に私心なく取り組んでいる。
- ・学内に総長のビジョンや方向性が浸透してきており、優秀な研究者も集まってきている中で、大学としての的確にマネジメントできる体制づくりを進めることが重要である。
- ・東北大学の「研究第一」の伝統や「実学尊重」の精神のもと、大学の強みを伸ばして世界に輝くような取組を期待する。
- ・「ワールドクラスへの飛躍」を具現化するにあたっては、各種ランキングの指標も分析しながら外国人比率や英語科目、また女性比率など具体的な数値を上げていくことや、世界から認知される国際フォーラムの開催等を戦略的かつ継続的に行っていくことを期待する。
- ・ワールドクラスを目指すなかで、地元社会の活性化にも貢献していると認められる。今後は、学内の様々な優れた取組などを一般社会や国際社会に向けて一層積極的に情報発信していくことを期待する。
- ・大学の持っている各種の情報について、大学運営や経営判断に十分に役立てていけるような共有の方法についての工夫を期待する。
- ・長期的な課題として、海外の大学のように十分な自己資金を確保できるよう、基金等の資産形成に取り組んでいくことを期待する。